

山形県 自家用自動車

定価1部・20円
 会員の購読料は会費に含まれております
 発行所
 山形市大字漆山字行段1422
 一般社団法人
 山形県自家用自動車協会
 電話023 (686) 3951
<https://www.y-jikayo.or.jp>
 印刷/鎌崎林印刷所

令和5年中の県内の交通事故死者数は34人で8人増加

県警察本部

山形県警察本部は令和5年中の県内の交通事故発生状況について公表しました。

それによると、発生件数は2,780件で前年比190件(6.4%)の減少、負傷者数は3,295人で同174人(5.0%)の減少、死者数は34人で同8人(30.8%)の増加となっております。

県内の過去5年間の発生状況の推移は、別表のとおり、発生件数及び負傷者数は減少傾向が続いていますが、死者数は2年連続の増加となりました。

歩行者被害の事故は、歩行中の死者14人中7人が高齢者で、このうち3人が夜間の事故、また、9人が道路横断中の事故となっております。

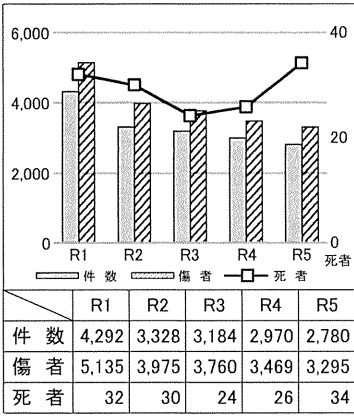
全国の交通事故死者 前年比8年ぶりに増加!

警察庁

警察庁がまとめた令和5年中の全国の交通事故死者数は2,678人で、前年より68人増加し、対前年比で8年ぶりの増加となりました。このうち、65歳以上の高齢者は1,465人で、全体の54.7%を占めています。

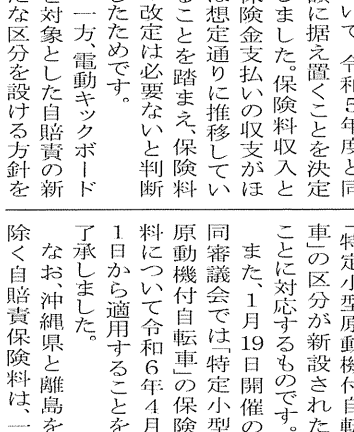
府148人、②愛知県145人、③東京都136人、④北海道131人、⑤千葉県127人で、少ないのは、①佐賀県の13人と、②鳥取県の14人などとなっております。

別表 県内過去5年間の推移



年齢別では、12月が300人と最も多く、11月の254人、10月の252人と続き、依然として夕暮れが早まる10月以降に多く発生しています。

別表 全国の交通事故死者数の推移



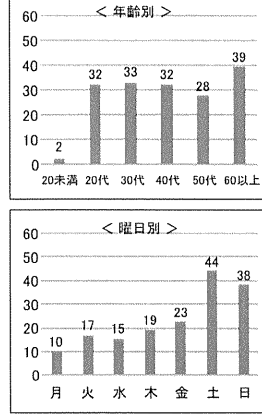
やめよう飲酒運転! 昨年飲酒運転検挙数が増加!

県警察本部

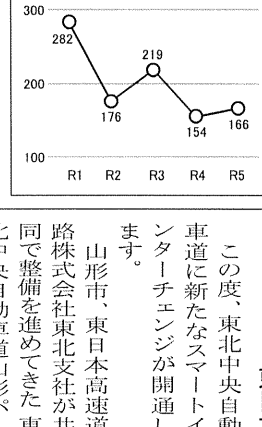
山形県警察本部のまとめによると、令和5年中の県内の飲酒運転検挙者数は延べ1,666人で、前年の1,544人から12人増加しました。

は土曜日が最も多い44人、次いで日曜日が38人となっております。そのほか、職業別では、無職等その他の56人を除くと、サービス業が50人と最も多く、次いで建設関係の26人などとなっております。

別表1 令和5年検挙内訳



別表2 過去5年間の検挙件数



自賠責保険料

令和6年度は据え置き

『特定小型原動機付自転車』の区分を新設

金庫庁

金庫庁は、1月15日開催された自動車損害賠償責任自賠責保険審議会で、令和6年度の保険料について、令和5年度と同額に据え置くことを決定しました。

一般的に2年契約では、自家用乗用車が1万7,650円、検査対象乗用車が1万7,540円となっており、新設の特定小型原動機付自転車は8,040円と既存の原動機付自転車8,560円より低く設定されました。

2年契約の保険料 (沖縄県及び離島を除く)	令和6年4月～	備考
自家用乗用自動車	17,650円	改定なし
検査対象乗用自動車	17,540円	改定なし
小型二輪自動車	8,760円	改定なし
原動機付自転車	8,560円	改定なし
特定小型原動機付自転車	8,040円	新設

また、1月19日開催の同審議会では、特定小型原動機付自転車の保険料について令和6年4月1日から適用することを了承しました。

なお、沖繩県と離島を除く自賠責保険料は、一

「山形PAスマートIC」が開通します!

東日本高速道路(株)東北支社

この度、東北中央自動車道に新たなスマートインターチェンジが開通します。

山形市、東日本高速道路株式会社東北支社が共同で整備を進めてきた東北中央自動車道山形パーキングエリア(PA)に接続するETC専用の「山形PA(やまがたPA)」にスマートインターチェンジ(スマートIC)が開通します。

山形PAスマートICが完成し、令和6年3月24日(日)15時に開通することになりました。

山形PAスマートICが接続されることで、地域経済の活性化、交流人口の拡大、救急医療活動の支援等の効果が期待されています。

1 開通日時: 令和6年3月24日(日) 15時

2 設置箇所: 山形市大道路地内

3 東北中央自動車道



山形運輸支局からのお知らせ

年度末の自動車の登録手続きはお早めに!

例年、2月から3月は、自動車の登録(新規登録、名義変更、住所変更、廃車等)手続きが集中して、窓口が大変混雑し、申請者の方には長時間お待ちいただく状態となっております。また、電話による問い合わせも多くなり、電話が繋がりにくくなるなど、ご不便をお掛けしています。

問い合わせの多くは、手続きに必要な書類や記載方法などですが、当支局のホームページや専用電話などをご利用いただき、混雑緩和にご協力をお願いします。また、登録等の手続窓口開庁時間は下記のとおりですので、時間内での手続についてもご協力をお願いします。

★ホームページの利用

(<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/yy/yy-index.html>)

譲渡証明書・委任状などの様式は、ホームページからダウンロードすることができます。「山形運輸支局」→「様式ダウンロード」→「自動車の登録」へ進むと、様式等がダウンロードできます。

★専用電話の利用

繁忙期の混雑緩和対策として、オペレータが応答する専用電話「ヘルプデスク」を設置し、登録手続きの案内を行っております。

- 電話番号 ・山形運輸支局 050-5540-2013
- ・庄内自動車検査登録事務所 050-5540-2014

- オペレータの案内時間 開庁日の8:30から17:15まで
- 自動音声による案内時間 24時間ご利用いただけます。

★登録手続窓口開庁時間

登録手続は開庁日(平日)の下記時間となります。下記時間以外は受付等行えませんのでご注意ください。

- 午前 8:45~11:45
- 午後 13:00~16:00

引越時期の分散にご協力を!!

国土交通省

例年、引越は3月から4月にかけて依頼が集中していますが、最近の人手不足もあり、国土交通省では、引越時期の分散について経済団体等を通じて利用者に呼びかけを行っています。引越時期の分散については、引越サービスの利用者にも大きなメリットがあり、引越時期の最繁忙期を避けた利用者からは次のような声が上がっています。

- ・ 3月末の土日の引越と比べて、引越代金が安くなった
- ・ 国土交通省における取組
 - ・ 経済団体を通じて、民間企業の異動時期分散の検討要請
- ・ 会社の従業員の引越に係るコストを抑えることができた
- ・ 3月の最終週から引越時期をずらすことで、予約が取りやすくなった
- ・ 4月に引越依頼が集中していることから、あらかじめピーク時期の引越を避けるなどの協力、検討をお願いしています。

2024年度、引越をご検討のお客様へ

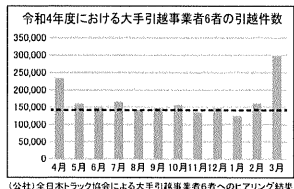
分散引越にご協力をお願いします!

国土交通省 国土交通省職員

2024年引越分散予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31

※国土交通省HPに引越情報提供窓口を設置

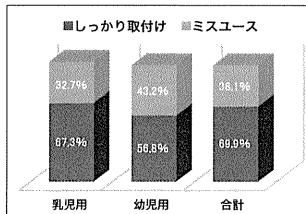


〈掲載ページ〉 http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr4_000022.html

に關する資料を掲載しています。ぜひご参考してください。

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、使用状況調査は、47都道府県の98箇所子どもを乗せた自動車約1万台を対象に実施しました。使用状況調査は、47都道府県の98箇所子どもを乗せた自動車約1万台を対象に実施しました。

取付け状況調査結果	乳児用	幼児用	合計
しっかり取付け	142 (67.3%)	125 (56.8%)	267 (69.9%)
ミスユース	69 (32.7%)	95 (43.2%)	164 (38.1%)
合計	211 (100.0%)	220 (100.0%)	431 (100.0%)



- ◇取付け状況調査におけるチェック項目
- ① ミスユース
 - ② 腰ベルトの締め付け不足(張力50N未満)
 - ③ 座席ベルトの差し方間違い
 - ④ 座席ベルトの長さ不足
 - ⑤ バックル側との不適合
 - ⑥ 固定金具・クリップの不備・誤使用
 - ⑦ 座席形状との不適合
 - ⑧ ロアアンカーの接続不良
 - ⑨ サポートレッグの調節不良
 - ⑩ トップテザーの調節不良
 - ⑪ 車両シートに置いただけ

警察庁と一般社団法人日本自動車連盟(JAFA)は、昨年6月から7月にかけて6歳未満に義務付けられているチャイルドシートの使用状況について全国調査を実施し、その結果を公表しました。その結果、使用率は一昨年から1.5ポイント増の76.0%と過去最高を記録しました。一方で、取付け方に問題があるケースが約4割あり、適正な使用を呼び掛けています。

使用状況調査は、47都道府県の98箇所子どもを乗せた自動車約1万台を対象に実施しました。使用状況調査は、47都道府県の98箇所子どもを乗せた自動車約1万台を対象に実施しました。

警察庁と一般社団法人日本自動車連盟は、昨年6月から7月にかけて6歳未満に義務付けられているチャイルドシートの使用状況について全国調査を実施し、その結果を公表しました。その結果、使用率は一昨年から1.5ポイント増の76.0%と過去最高を記録しました。一方で、取付け方に問題があるケースが約4割あり、適正な使用を呼び掛けています。

チャイルドシート使用状況調査 使用率76%、取付けに課題も

警察庁・一般社団法人日本自動車連盟

山形県の令和5年における新車新規登録・届出台数は、別表のとおり総計が51,520台と4年ぶりに5万台を超え、前年比では6,130台(13.5%)の増加となりました。

前年との比較では、登録自動車の合計で18.7%の増加、乗用車全体では19.1%の増加となっており、うち普通車が32.3%の増加、小型車が4.8%の増加となっています。貨物車全体では17.4%の増加、その他のバス、特種等は13.0%の増加となっています。軽自動車は7.2%の増加、小型二輪車は15.3%の増加となっています。

別表 令和5年及び直近5年間の県内新車新規登録・届出台数

	令和5年					前年比増減(率)	
	R1	R2	R3	R4	台数		
登録自動車	乗用	12,584	10,764	11,278	10,973	14,513	3,540 (32.3)
	小型	14,498	12,656	10,783	10,098	10,580	482 (4.8)
	計	27,082	23,420	22,061	21,071	25,093	4,022 (19.1)
	貨物	3,740	2,975	3,243	2,677	3,142	465 (17.4)
	その他	1,049	907	1,051	857	968	111 (13.0)
計	31,871	27,302	26,355	24,605	29,203	4,598 (18.7)	
軽自動車	22,648	20,321	20,007	20,296	21,753	1,457 (7.2)	
小型二輪車	331	307	398	489	564	75 (15.3)	
総合計	54,850	47,930	46,760	45,390	51,520	6,130 (13.5)	

注 1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用車・小型は5ナンバー、貨物車は1又は3ナンバー、その他はバス、特殊用途車である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

☆4年ぶりに5万台を突破!

東北運輸局

山形県の12月における新車新規登録・届出台数は、総合計3,734台で前年同月比9.8%増と16ヶ月連続して増加しました。

○登録自動車は合計で11.8%の増となり、乗用車全体では11.2%増で12ヶ月連続の増加となり、うち普通車が18.3%の増加、小型車は1.1%の増加となっています。貨物車全体では27.1%増で5ヶ月連続して増加し、その他1ヶ月の増加となりました。

別表 12月新車新規登録・届出台数

	5年12月			増減	率
	5年12月	前年同月	増減		
登録自動車	乗用	1,067	902	165	18.3
	小型	635	628	7	1.1
	計	1,702	1,530	172	11.2
	貨物	253	199	54	27.1
	その他	95	105	▲10	▲9.5
計	2,050	1,834	216	11.8	
軽自動車	1,650	1,557	93	6.0	
小型二輪車	34	11	23	209.1	
総合計	3,734	3,402	332	9.8	

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用車・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特殊用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

☆12月総合計で9.8%増(16ヶ月連続増加)

東北運輸局